

会長	中村史子	(八幡平小学校)	理事	中村雅子	(花輪小学校)
副会長	関清志	(八幡平中学校)	理事	本館千春	(十和田小学校)
事務局	川口好陽子	(柴平小学校)	理事	内川由美子	(小坂小学校)
研究部	駒場春音	(十和田中学校)			
事業部	滝澤政夫	(大湯小学校)			
会計監査	辻明日香	(十和田小学校)			

令和5年度総会・研修会
(鹿角市立花輪中学校／4月25日)

県児童生徒美術展鹿角地区審査会
鹿角造形教育研究会研修会
(文化の杜交流館コモッセ／12月15日)

鹿角小・中・高合同美術展
(コモッセ／1月13日～1月18日)
作品を見合う会 (1月18日)

- 県児童生徒美術展鹿角地区審査会 (12/15)
今年度は、小・中合わせて159点の作品が出品され、そのうち、小学校37点、中学校24点の作品が入賞した。
1月に行われた県の審査会では、小学校から3点が話題作に選出された。
- 鹿角小・中・高合同美術展 (1/13～1/18)
今年度も小・中・高合同美術展を開催した。県児童生徒美術展に出品された小・中学生の作品165点のほかに、高校生の作品も出品され、多くの来場者に鑑賞していただくことができた。
- 作品を見合う会 (1/18)
元鹿角造形教育研究会会長木村伸先生を講師としてお招きし、作品を見合う会を開催した。
講話の中では、「小学校中学年の頃から、見たものをそのまま描きたいという欲求が子どもたちの中に出てくる。この時期に、『絵が苦手だ、描きたくない。』と思わせないような手立てが必要である。」「必ず教科書の題材を扱わなければならない訳ではない。教師が咀嚼できない題材に、子どもの学びの深まりは生まれない。子どもが楽しく制作できる題材を教師がきちんと選ぶことが必要だ。」というお話があり、教師が題材について、しっかりと研究し、題材のねらいや価値をはっきりさせた上で何を学び取らせる授業を行う必要性について確認することができた。



話題作 (小6)



鹿角小中高合同美術展の様子



話題作 (小5)



話題作 (小4)